

[V] 次の文中の に最も適当な語を語群から選び、また下線部に関する問いに答え、最も適当な記号1つをマークしなさい。

アフリカ西部、サハラ砂漠の南縁に東西にひろがる乾燥草原地帯をサヘルという。この呼称は「岸辺」を意味するアラビア語に由来する。この地域と①地中海沿岸地域^①の間に横たわるサハラ砂漠という「海」を、ラクダを「砂漠の船」として縦断する交易路が開かれ、西アフリカ産の黄金などをサハラ産の岩塩などと交易する塩金貿易が行われていたのである。この交易による富を経済的基盤として、②マリ王国^②などの③ニジェール川流域^③を中心とする強大な王国がうまれた。また、この交易へのムスリム商人の進出を機縁として④イスラーム化^④が進行し、ニジェール川湾曲部の イ は⑤イスラーム学術都市^⑤としても繁栄した。

サヘル^⑥の南方、大西洋沿岸の熱帯雨林地帯はギニアと呼ばれる。ヨーロッパ諸国のギニアへの進出はサヘルにも影響を及ぼした。西アフリカの産物はギニアに運ばれてヨーロッパへと積み出されるようになり、サハラ縦断交易は衰退した。輸出品目は「新大陸」での労働力となる⑥奴隷^⑥が中心となり、西アフリカ社会の荒廃をひきおこした。そして19世紀後半の⑦ベルリン=コンゴ会議^⑦によって正当化された⑧アフリカ分割^⑧により、サハラからサヘルのほとんどは ロ による植民地支配を受けることになるのである。

[語群]

- イ a. モンバサ b. ザンジバル c. トリポリ d. トンブクトゥ
ロ a. フランス b. スペイン c. オランダ d. ポルトガル

[問い]

- ①チュニジアから興って、地中海沿岸地域を支配したイスラーム王朝はどれか。
a. 後ウマイヤ朝 b. トゥールーン朝 c. イドリース朝 d. ファーティマ朝
- ②マリ王国最盛期の、豪勢なメッカ巡礼で知られる国王は誰か。
a. アスキア=ムハンマド b. マンサ=ムーサ
c. ムハンマド=アフマド d. サモリ=トゥーレ
- ③ニジェール川流域を中心に、15世紀から16世紀に栄えた王国はどれか。
a. ダホメ王国 b. ソンガイ王国 c. クシュ王国 d. プガンダ王国